

福井県児童科学館 施設改善の基本的な考え方について

<目指す方向性>

- こどもや保護者がより楽しく過ごせる児童科学館となるよう、利用者等の意見を踏まえて館の機能を拡充
- 広域かつ多世代の交流人口拡大を図るため、県内の遊び場等をつなぐハブ機能を強化し、館の魅力を向上

<施設改善における基本的な考え方>

- ・老朽化した遊具の継続的な修繕や、民間資金を活用した持続的、効率的な運営確保を図りつつ、大きく3つのコンセプトに基づき、開館30周年を節目としたリニューアルを検討

①「ふく育県」のシンボル化、子育て世帯が安心して遊べる機能を拡充

こどもや子育て世代に寄り添う観点から、新たな設備の導入や子育てサポートの環境整備を推進

- ・来館するきっかけとなるような大型複合遊具等を導入しこどもの遊び場を屋内外に整備
- ・障がいの有無等分け隔てなく遊べるインクルーシブ遊具・館内設備を導入
- ・子育て世帯が手ぶらで来て楽しめるよう、飲食・休憩エリアを充実



インクルーシブ遊具
(イメージ)

②「宇宙」と「恐竜」コンテンツを充実

館の強みである宇宙関連の遊具や教育機能の強化に加え、本県が誇る恐竜関連の設備を追加導入

- ・美しい星空から演劇・音楽まで幅広い体験ができるプラネタリウムに刷新
- ・未来(宇宙)や過去(恐竜)への旅を疑似体験し、ワクワクできる大型アトラクションを導入
- ・「恐竜」をモチーフにした屋内遊具の導入、高度な科学に触れることができる展示内容に刷新
- ・県内大学との連携を強化し、公開講座や展示ブースの設置など、高度な科学に触れる機会を拡大



最新式のプラネタリウム
(イメージ)

③県内の児童館や遊び場をつなぐ拠点機能の強化

全国で唯一、2つの大型児童館を持つ強みを活かし、県内の児童館や遊び場等と連携した事業を拡充

- ・県内の児童厚生員の研修を充実させ、子育てや遊びの専門人材を育成する拠点としての機能を強化
- ・県内各市町の遊び場・公園情報の発信など、子育て環境の情報発信拠点としての機能強化
- ・県内の児童館、子育て支援センター等の児童福祉施設と連携し、イベント内容等をさらに充実



児童館フェスタの様子